| 学校番号 | １０８ |
|---|---|

# 令和２年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ｂ | 単位数 | ４単位 | 学年 | ３年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 詳説世界史　改訂版　（山川出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ニューステージ世界史詳覧（浜島書店出版）、世界史Ｂ用語集（山川出版社） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界各地の歴史を学ぶことによって、現代の世界の諸課題を、理解考察できる力を養う。
・世界の歴史を学ぶことによって、時間軸と、地域の広がりの上に世界を理解する三次元の世界観を構築する。

## ２　学習の到達目標

・世界各地の歴史を、そこに生きた人々が何を課題とし、何を目標として生きたかを理解することを通し、平和で、民主的な世界を構築していく日本国民を育成する。
・世界各地の歴史を学ぶことから、現代われわれが直面している諸課題を、より深く考察し、理解し、未来への展望を築けるようにする。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を主体的に形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 | 世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ワークシート<br>レポート | 定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | 定期考査 |
| | （主題学習）<br>振り返りシート | （主題学習）<br>レポート<br>報告会での発表内容 | （主題学習）<br>パワーポイント<br>ポスター | （主題学習）<br>内容のまとまり |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | オリエントと古代世界 | ・古代オリエント世界<br>・ギリシャ世界<br>・ローマ世界 | ○<br>○<br>○ | <br>○<br> | <br><br>○ | ○<br>○<br>○ | a: 古代オリエント、ギリシャ・ローマ世界の地域世界を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: 古代オリエント、ギリシャ・ローマ世界の地域世界を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 古代オリエント、ギリシャ・ローマ世界の地域世界について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 古代オリエント、ギリシャ・ローマ世界の地域世界を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | アジア・アメリカの古代文明 | ・インドの古代文明<br>・東南アジアの諸文明<br>・中国の古典文明<br>・南北アメリカ文明 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br><br>○<br>○ | ○<br><br><br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a: インド・東南アジア・中国・南北アメリカの古代世界を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: インド・東南アジア・中国・南北アメリカの古代世界を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: インド・東南アジア・中国・南北アメリカの古代世界について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: インド・東南アジア・中国・南北アメリカの古代世界を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | | ・草原の遊牧民とオアシスの定住民<br>・北方民族の活動と中国の分裂<br>・東アジア文化圏 | ○<br>○<br>○ | <br><br>○ | <br>○<br> | ○<br>○<br>○ | a: 内陸アジア世界から東アジア世界の交流を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: 内陸アジア世界から東アジア世界の交流の特質を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 内陸アジア世界から東アジア世界について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 内陸アジア世界から東アジア世界に形成された諸文明と交流の特質を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>地図の作成 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | イスラーム世界の形成と発展 | ・イスラーム世界の形成<br>・イスラーム世界の発展<br>・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化<br>・イスラーム文明の発展 | ○<br>○<br>○<br>○ | <br>○<br><br>○ | <br><br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a: イスラーム世界の文化、社会を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: イスラーム世界の地域世界を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: イスラーム世界の地域世界について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: イスラーム世界の地域世界を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | ヨーロッパ世界の形成と発展 | ・西ヨーロッパ世界の成立<br>・東ヨーロッパ世界の成立<br>・西ヨーロッパ中世世界の変容<br>・西ヨーロッパ中世文化 | ○<br>○<br>○<br>○ | <br><br><br>○ | <br>○<br><br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a: ヨーロッパ世界(西ヨーロッパ、東ヨーロッパ)の地域世界の特質を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: ヨーロッパ世界(西ヨーロッパ、東ヨーロッパ)の地域世界の特質を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: ヨーロッパ世界(西ヨーロッパ、東ヨーロッパ)の地域世界の特質について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: ヨーロッパ世界(西ヨーロッパ、東ヨーロッパ)の地域世界の特質を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 内陸アジア世界 | ・トルコ化とイスラーム化<br>・東アジア諸地域の自立化<br>・モンゴルの大帝国 | ○<br><br>○ | <br><br>○ | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | a: 内陸アジア世界と東アジア世界を「タタールの平和」をもとに意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: 内陸アジア世界と東アジア世界を「タタールの平和」を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 内陸アジア世界と東アジア世界を「タタールの平和」について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 内陸アジア世界と東アジア世界を「タタールの平和」を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>地図の作成 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | アジア諸地域の繁栄 | ・東アジア世界の動向<br>・清代の中国と隣接諸地域<br>・トルコ・イラン世界<br>・ムガル帝国と東南アジア交易 | ○<br>○<br>○<br>○ | <br><br><br>○ | <br>○<br><br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a：清朝を中心とする東アジア世界とトルコイラン世界、ムガル帝国の地域世界を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b：清朝を中心とする東アジア世界とトルコイラン世界、ムガル帝国の地域世界を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c：清朝を中心とする東アジア世界とトルコイラン世界、ムガル帝国の地域世界について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d：清朝を中心とする東アジア世界とトルコイラン世界、ムガル帝国の地域世界を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 近世ヨーロッパ世界の形成 | ・ヨーロッパ世界の拡大<br>・ルネサンス<br>・宗教改革<br>・ヨーロッパ諸国の構想と主権国家体制の形成 | ○<br>○<br>○<br> | ○<br><br><br>○ | <br><br>○<br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a：大航海時代見おけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立への関心を高め意欲的に追及しようとしている。<br>b：大航海時代見おけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c：大航海時代見おけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、について有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d：大航海時代見おけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 近世ヨーロッパ世界の展開 | ・重商主義と啓蒙専制主義<br>・ヨーロッパ諸国の海外進出<br>・17～18 世紀のヨーロッパ文化と社会 | ○<br>○ | ○ | ○ | ○<br>○<br><br>○ | a:　17～18世紀のヨーロッパの思想、文化、海外進出について意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: 17～18世紀のヨーロッパの思想、文化、海外進出について多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 17～18世紀のヨーロッパの思想、文化、海外進出について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 17～18世紀のヨーロッパの思想、文化、海外進出を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>資料演習 |
| | 近代ヨーロッパ・アメリカ世界 | ・産業革命<br>・アメリカ独立革命<br>・フランス革命とナポレオン | ○ | ○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a:１８世紀の二重の革命の時代（産業革命と市民革命）について意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b:　１８世紀の二重の革命の時代（産業革命と市民革命）について多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:　１８世紀の二重の革命の時代（産業革命と市民革命）について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d:　１８世紀の二重の革命の時代（産業革命と市民革命）について、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 近代国民国家の発展 | ・ウィーン体制<br>・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生<br>・南北アメリカの発展<br>・19 世紀欧米の文化 | <br>○<br><br>○ | ○ | ○ | ○<br>○<br><br>○<br>○ | a:　１８世紀後半以降のヨーロッパ・南北アメリカ地域の変貌について意欲的に考察し、関心を高めようとしている。<br>b:　１８世紀後半以降のヨーロッパ・南北アメリカ地域の変貌について古代オリエント、ギリシャ・ローマ世界の地域世界を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:　１８世紀後半以降のヨーロッパ・南北アメリカ地域の変貌について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d:　１８世紀後半以降のヨーロッパ・南北アメリカ地域の変貌について、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | アジア諸地域の動揺 | ・オスマン帝国の動揺と西アジア地域<br>・南アジア・東南アジアの植民地化<br>・東アジアの激動 | <br>○<br> | ○<br><br> | <br><br>○ | ○<br>○<br>○ | a:　18世紀後半以降の西アジア・東南アジアの変貌の特質を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: 18世紀後半以降の西アジア・東南アジアの変貌の特質を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 18世紀後半以降の西アジア・東南アジアの変貌の特質について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 18世紀後半以降の西アジア・東南アジアの変貌を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート |
| 3学期 | 帝国主義 | ・帝国主義と列強<br>・世界分割<br>・アジア諸国の改革と民族運動 | ○<br><br> | ○<br><br> | <br>○<br> | ○<br>○<br>○ | a:　19世紀末から20世紀初頭に見られた社会の急激な変化とそれに対抗する各地の民族運動について意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b: 19世紀末から20世紀初頭に見られた社会の急激な変化とそれに対抗する各地の民族運動について、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 19世紀末から20世紀初頭に見られた社会の急激な変化とそれに対抗する各地の民族運動について、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 19世紀末から20世紀初頭に見られた社会の急激な変化とそれに対抗する各地の民族運動について、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 二つの世界大戦 | ・第一次大戦とロシア革命<br>・ヴェルサイユ体制下<br>・アジア・アフリカ地域の民族運動<br>・世界恐慌とファシズム諸国 | ○<br>○<br><br>○ | <br><br>○ | <br><br>○<br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a: 二つの世界大戦へ至る原因と影響、平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b: 二つの世界大戦へ至る原因と影響、平和の意義などを多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 二つの世界大戦へ至る原因と影響、平和の意義などに対し、有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 20世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦へ至る原因と影響、平和の意義などを、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 冷戦と第三世界 | ・第二次世界大戦<br>・戦後世界秩序の形成<br>・冷戦と西欧・日本の経済復興<br>・第三世界の台頭、米ソの歩み寄り<br>・石油危機と世界経済の再編 | ○<br>○<br><br>○ | ○ | ○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a: 第二次大戦と、戦後世界体制の確立について現在まで続く課題に対する関心を高め意欲的に追求しようとしている。<br>b: 第二次大戦と、戦後世界体制の確立について、現在まで続く課題に対し、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 第二次大戦と、戦後世界体制の確立について現在まで続く課題に対する有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 第二次大戦と、戦後世界体制の確立について現在まで続く課題を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | 現代の世界 | ・社会主義世界の変容とグローバリゼーション<br>・途上国の民主化と独裁政権の動揺<br>・地域紛争の激化と貧困の深刻化 | ○<br>○<br>○ | | ○ | ○<br>○<br>○ | a: 1980年代から現在までの世界の諸地域の変化と課題について、意欲的に考察し追求しようとしている。<br>b: 1980年代から現在までの世界の諸地域の変化と課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 1980年代から現在までの世界の諸地域の変化と課題について、歴史的観点から有用な資料を収集し、選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 1980年代から現在までの世界の諸地域の変化と課題を日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>統計資料活用 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。